

令和7年度前期 福井工業大学 単位互換開放科目一覧

No.	科目名称	受入数	所属		科目担当者名	開講学期	曜日	時限	備考
1	木造建築概論	若干名	工学部	建築土木工学科	多米 淑人	前期	未定	未定	
2									
3									
4									
5									

講義室については、ガイダンス時に指示をします。

【授業時間帯】

第1時限	第2時限	第3時限	第4時限	第5時限
8：50～10：20	10：30～12：00	12：40～14：10	14：20～15：50	16：00～17：30

授 業 科 目 名		開 講 期	担 当 者
木造建築概論		前期	多米 淑人
[授 業 の 概 要 ・ 目 的]			
日本の木造建築物は、長い歴史を通して培われてきた工夫や知恵を多く含みながら発展してきた。本講義では、木造建築の中でも寺院や神社、民家、城郭建築などの各建物の要素や形式、意匠などを解説するとともにこれらがどのように発展、成立したのか、さらにこれら各建築の特徴などについても説明し、先人たちが後世に残した木造建築を理解することによって建築分野の教養・知識を習得することを目的とする。 (時間数：90 分×1 時限×16 回) ◆本授業は、対面授業とする。ただし 新型コロナウイルス感染拡大の状況により 、オンライン 授業となる場合がある。			
[授 業 計 画]			
	テ ー マ	内 容 ・ 方 法 等	
1	講義ガイダンス	講義の進め方、スケジュール、評価方法、受講に際しての注意事項などについて説明する。	
2	木造建築の種類（１）宗教建築	寺院建築と神社建築の概要や共通点、相違点について講義する。学生が小課題に記入した質問に対するディベートを次の講義にて行ない、最後に小課題を実施する。	
3	木造建築の種類（２）宗教外建築	住宅建築と城郭建築の概要や共通点、相違点について講義する。学生が小課題に記入した質問に対するディベートを次の講義にて行ない、最後に小課題を実施する。	
4	寺院建築（１）真宗系	真宗系寺院建築について講義する。学生が小課題に記入した質問に対するディベートを次の講義にて行ない、最後に小課題を実施する。	
5	寺院建築（２）密教系	密教系寺院建築について講義する。学生が小課題に記入した質問に対するディベートを次の講義にて行ない、最後に小課題を実施する。	
6	寺院建築（３）禅宗系	禅宗系寺院建築について講義する。学生が小課題に記入した質問に対するディベートを次の講義にて行ない、最後に小課題を実施する。	
7	神社建築（１）社殿構成	神社建築の形式について講義する。学生が小課題に記入した質問に対するディベートを次の講義にて行ない、最後に小課題を実施する。	
8	神社建築（２）本殿	神社建築の本殿形式について講義する。学生が小課題に記入した質問に対するディベートを次の講義にて行ない、最後に小課題を実施する。	
9	神社建築（３）各社殿	神社建築の拝殿や幣殿などの各社殿について講義する。学生が小課題に記入した質問に対するディベートを次の講義にて行ない、最後に小課題を実施する。	
10	住宅建築（１）民家形式	住宅建築の形式やその種類、特徴について講義する。学生が小課題に記入した質問に対するディベートを次の講義にて行ない、最後に小課題を実施する。	
11	住宅建築（２）農家建築	農家建築の形式や特徴について講義する。学生が小課題に記入した質問に対するディベートを次の講義にて行ない、最後に小課題を実施する。	
12	住宅建築（３）町家建築	町家建築の形式や特徴について講義する。学生が小課題に記入した質問に対するディベートを次の講義にて行ない、最後に小課題を実施する。	
13	城郭建築（１）形式と種類	城郭建築の形式と種類やその建築的特徴や用途について講義する。学生が小課題に記入した質問に対するディベートを次の講義にて行ない、最後に小課題を実施する。	
14	城郭建築（２）天守	天守の形式や特徴について講義する。学生が小課題に記入した質問に対するディベートを次の講義にて行ない、最後に小課題を実施する。	
15	城郭建築（３）櫓と御殿	櫓および御殿の形式やその建築的特徴、用途について講義する。学生が小課題に記入した質問に対するディベートを次の講義にて行ない、最後に小課題を実施する。	
16	試験および総括	試験および総括 テストを後日返却するので、研究室（3 号館 5 階 3-53 研究室）まで取りに来ること。取りに来る期日は講義中に指示する。	
[評 価 方 法]			
①評価種別 毎回の授業で行なう小課題、第 16 回目の講義で実施する定期試験、講義への取り組み方をみる受講態度で評価します。			
②割合 定期試験 50%、小課題 30%、受講態度 20%			

[教 材] ◎常時使用 ○補助教材			
印	書 名	著 者 名	出 版 社 名・出 版 年
◎	『カラー版 図説 日本建築の歴史』	矢ヶ崎善太郎 編著、高井昭・小出祐子・岡本公秀・野村彰 著	学芸出版社
[受 講 心 得]			
本講義で解説する木造建築は、普段の生活においても目にすることができるものである。講義においては難解な専門用語もでてくることから、各自が実際の木造建築を観て、触れて、感じてから受講すること。			